

# 城南家保ニュース Vol.25-2

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail [jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp](mailto:jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp)

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/>



## 牛の異常産を防ぎましょう！

日中は、もうすでに初夏を通り越すような暑さですが、それに反して、朝夕は冷え込み、体調管理の難しさを感じる日々かと存じます。

毎年、この時期は、吸血昆虫が媒介するアルボウイルスによる異常産の予防ワクチン接種の時期でもあります。ここ数年、県内では、アルボウイルス感染が原因と考えられる牛の異常産（流早死産・奇形など）は、ほとんど流行していませんでしたが、本年度に入り管内の2農場において、ウイルス性の可能性が疑われる牛の異常産が発生しましたので、概要をお知らせします。

症例1：平成24年7月6日種付けの肉用繁殖牛において、4月16日死産子牛を娩出。娩出直後に頭蓋骨の異常などの奇形を確認。その後、解剖により左後肢の内転、脊柱（背骨）のS字状わん曲、さらに大脳・小脳の欠損を確認（写真1）。

写真1



脊柱S字状わん曲



頭蓋内部（大小脳欠損）

症例2：平成24年7月9日種付けの肉用繁殖牛において、4月21日に正常分娩。外貌から前肢のX脚、頭頂部突出等が見られ、解剖により大脳・小脳の欠損を確認（写真2）。

写真2



頭頂部突出



頭蓋内部（大小脳欠損）

症例1，2共に、現在、検査継続中です。

「予防ワクチンは、最大の防御になる」と、思われます。春先のワクチン接種は、6月上旬まで行われています。可能な限り、異常産ワクチン接種の励行をお願いします。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	4月8日	牛	A
	中国	4月12日	牛	A
	中国	5月2日	牛	A
	中国	5月7日	牛	A
高病原性 鳥インフルエンザ	バングラデシュ ネパール	2月27日、3月9日 2月12日～3月30日	家きん 家きん	H5N1 H5N1
低病原性 鳥インフルエンザ	中国	4月 5月	鳩 4件 鶏 7件 あひる 2件 鶏 2件	H7N9

2013年 5月10日現在

### 編集後記 (担当 TN)

- ☺ 冒頭でも述べましたが、予防ワクチン効果については、診療獣医師からの情報もよく聞いていました。まさにワクチンは、「転ばぬ先の杖」。予防できる疾病は、疾病発生を想定した被害額に比べれば何分の一の必要経費と思われれます。農家毎に想定されるワクチンの種類もまちまちだとは思いますが、かかりつけ獣医師とよくご相談の上、衛生費として必要経費の中に組み込んでいただきたいと思います。
- ☺ 飼養衛生管理の周知のため、一昨年から全戸立入調査が実施されています。不備が多い点としては、「来場者の記録情報（疾病発生時の疫学調査として重要）」、「手指の消毒」などがあげられます。「いつやるか」・・・。「今でしょ」です。今一度ご確認ください。

**家畜の異常を発見したら、迅速に家畜保健衛生所までご連絡下さい！**